

① 二宮尊徳遺髪塚
尊徳の母の実家はこの地 別所の川久保太兵衛です
尊徳の次男 民次郎の遺言で遺髪塚は建てられました

② 見送り稲荷
曽我兄弟が仇討ちに出かける際に願をかけた小社
母 満江御前が曽我の郷に嫁ぐ際に覗靖された

③ 本尊は行基作といわれる 瑠璃光薬師如来
戦国時代に兵火で背中を焼き 別名「焼け薬師」

④ 旧別所村の下久保・防田七地区の氏神 日連宗 法蓮寺の
持ち社。祭神は応神天皇

⑤ 唯念 行者の筆で「南無阿弥陀仏」と書かれた念仏塔
台座に郷中安全の文字

⑥ 雄山荘は 太宰治の小説「斜陽」の舞台となった別荘 その文中には
雄山荘の内部の様子や 満開に咲きほこる栢の花が書かれています。
太宰のファンであった この家に住む 太田静子の日記を借りて「斜陽」を完成させました。

⑦ 城前寺 寺には曽我兄弟 および虎御前(兄十郎の恋人)の木像 他 ゆかりの品々が伝っている
本堂裏手には 曽我兄弟・父祐信・母 満江御前の供養塔。

⑧ 尾崎一雄 文学碑
宗我神社の神主の家に生まれる 昭和12年 芥川賞を受賞 志賀直哉に師事。
私小説 作家で 文化勲章を受賞している